

- 耐性検査-gag 遺伝子内に検出された挿入変異の意義. 医療 58 88-90 2004
24. 浅黄 司、伊部史朗、金田次弘、鈴木博義、手塚文明、西村秀一、佐藤 功、山崎孝文. HIV-1 薬剤耐性検査の感度改善. 医療 58 91-93 2004
  25. 和田かおる、永井裕美、萩原智子、内海眞、金田次弘. HIV-1 DNA 量のマーカーとしての意義 - PNA-ISH 法との比較. 医療 58 96-98 2004
  26. 宇佐美好子、間宮均人、大木 剛、中井正彦、金田次弘. ロピナビルの血中濃度測定: エファビレンツとの同時測定法の確立、健常人における体内動態及び臨床応用への展望. 新薬と臨床 53 449-457 2004
  27. 伊部史朗、金田次弘. 未治療 HIV-1 感染者における薬剤耐性ウイルスの検出頻度とその特徴. 現代医療 36 65-72 2004
- <学会発表リスト>
1. Kondo M., Shima T., Sudo K., Imai M. et al: Epidemiological and molecular characteristics of HIV infection in Uzbekistan, the XV International AIDS Conference (11-16 July 2004, Bangkok)
  2. Kato, S., Tanaka, R. Antiretroviral effects of intracellular protease inhibitors. XV International AIDS Conference, Abstract WePeA5669. 2004, July 11-16, Bangkok, Thailand.
  3. Yoshimura, K. Evaluation of residual viral replication for optimization of highly active antiretroviral therapy (HAART). 5th AIDS seminar in Kumamoto 2004. 9. 9-10. Kumamoto.
  4. Shibata, J., Wang, F.X., Kimura, T., Iwata R., Yoshimura K., Koito, A., Matsushita, S. Involvement of C3 mutation in neutralization sensitivity for anti-V3 antibodies. 5th AIDS seminar in Kumamoto 2004. 9. 9-10. Kumamoto.
  5. Iwata, R., Shibata, J., Kimura, T., Yoshimura K., Koito, A., Matsushita, S. Cross neutralizing activity of serum antibodies with neutralizing activity against autologous HIV. 5th AIDS seminar in Kumamoto 2004. 9. 9-10. Kumamoto.
  6. Kenai, A., Kimura, T., Yoshimura K., Koito, A., Matsushita, S. Efficient induction of both cellular and humoral immune responses by immunization with Tat-Nef fusion protein (tNEF) without adjuvants. [ThPeA6983], XV International AIDS Conference Bangkok, 2004. 7. 11-16, Bangkok, Thailand.
  7. Matsushita, S., Kimura, T., Shirai, N., Koito, A., Yoshimura, K. New approach for optimization of HAART; Evaluation of residual viral replication by monitoring proviral DNA level and T cell turnover rate. [TuPeA4356], XV International AIDS Conference Bangkok, 2004. 7. 11-16, Bangkok, Thailand.
  8. Yan, H., Chiba, T., Kitamura, Y., Nishizawa, M., Fujino, M., Yamamoto, N., and Sugiura, W. Novel Small - Molecule Compounds which inhibit strand transfer activity of HIV-1 integrase. 13th International HIV Drug Resistance Workshop. Tenerife, Canary Islands, Spain. 2004. 6. 8-6. 12
  9. Sugiura, W., Matsuda, M., Chiba, T., Kakizawa, J., Nishizawa, M., Miura, H., Hamatake, M., Ueda, T., Fujino, M., Yamada, K., and Yamamoto, N. Changes in Prevalence and Patterns of Drug

- Resistant Mutations in Japan-Summary of Nationwide HIV-1 Drug Resistance Surveillance Study (1996 to 2003) in Japan. 13th International HIV Drug Resistance Workshop. Tenerife, Canary Islands, Spain. 2004.6.8-6.12
10. Kantor, R., Katzenstein, D., Rhee, S.Y., Carvalho, A.P., Wynhoven, B., Soares, M.A., Cane, P., Clarke, J., Snoeck, J., Ssirivichayakaul, S., Ariyoshi, K., Holguin, A., Pillay, C., Rudich, H., Rodrigues, R., Bouzas, M.B., Cahn, P., Brigido, L., Grossman, Z., Morris, L., Soriano, V., Sugiura, W., Phanuphak, P., Vandamme, A.M., Weber, J., Pillay, D., Tanuri, A., Harrigan, P.R., Camacho, R., Schapiro, J.M., Shafer, R.W. HIV-1 Protease and RT mutations according to subtype and antiretroviral therapy : A watch list for epidemiologic studies using a web - based application. 15th International AIDS Conference. Bangkok, THAILAND. 2004.7.11-7.16
  11. Sugiura, W., Matsuda, M., Chiba, T., Nishizawa, M., Kakizawa, J., Ueda, T., Hamatake, M., Fujino, M., Yamada, K., Yamamoto, N. Changes in Prevalence and Patterns of Drug Resistant Mutations in Japan-Summary of Nationwide HIV-1 Drug Resistance Surveillance Study (1996 to 2002) in Japan. 15th International AIDS Conference. Bangkok, THAILAND. 2004.7.11-7.16
  12. Yan, H., Chiba, T., Nishizawa, M., Kitamura, Y., Yamamoto, N., Sugiura, W. Inhibition of HIV-1 integrase strand transfer activity by Carbazole derivatives. 15th International AIDS Conference. Bangkok, THAILAND. 2004.7.11-7.16
  13. Chiba, T., Takizawa, M., Matsuda, M., Honda, M., Nishizawa, M., Matsuda, Z., Yamamoto, N., Sugiura, W. A novel HIV-1 reporter cell line for rapid and accurate drug resistance phenotyping. 15th International AIDS Conference. Bangkok, THAILAND. 2004.7.11-7.16
  14. Nishizawa, M., Kato, S., Miura, H., Fujino, M., Yamamoto, Y., Sugiura, W. Comparison of Intracellular Protease Inhibitor Concentration and Kinetics in Different Cell Types. Fifth HIV DRP Symposium Antiviral Drug Resistance. Virginia, USA. 2004.11.14 - 11.17
  15. Zhu, D., Taguchi-Nakamura, H., Goto, M., Odawara, T., Nakamura, T., Yamada, H., Kotaki, H., Sugiura, W., Iwamoto, A., and Kitamura, Y. Influence of Single - Nucleotide, Polymorphisms in the Multidrug Resistance - 1 Gene on the Cellular Export of Nelfinavir and its Clinical Implication For Highly - Active Antiretroviral Therapy. Fifth HIV DRP Symposium Antiviral Drug Resistance. Virginia, USA. 2004.11.14 - 11.17
  16. 今井光信. HIV 検査体制の現状と課題. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9 日- 11 日、静岡).
  17. 今井光信. HIV 感染症に対する迅速診断法の進歩と課題. 第 45 回日本臨床ウイルス学会 (2004 年 6 月 12 日- 13 日、大阪).
  18. 今井光信. 輸血後 HIV 感染の防止と保健所等の HIV 検査体制について. 第 28 回血液事業学会総会 (2004 年 9 月 15 日- 16 日、横浜).
  19. 今井光信. HIV 検査体制の現状と課題.

- 第 45 回日本輸血学会東海支部会 (2005 年 2 月 19 日、名古屋).
20. 嶋 貴子、西大條文一、潮見重毅、中瀬克己、今井光信. HIV 即日検査の試験的実施とその普及への試み. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9-11 日、静岡)
  21. 工藤伸一、長野秀樹. 北海道における迅速検査導入の経緯と課題. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9 日- 11 日、静岡).
  22. 阿保 満、小竹桃子、山口 剛、白木きよみ、飯田真美、前田秀雄、湯藤 進. 東京都南新宿検査・相談室で開始した土日検査の受信者像. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9 日- 11 日、静岡).
  23. 川畑拓也、大竹 徹. HIV 感染に関して感染リスクの高い行動をとる人々を対象にした疫学調査. 第 18 回近畿エイズ研究会学術集会 (2004 年、大阪)
  24. 小島洋子、川畑拓也、森 治代、大國 剛、大竹 徹. 分子疫学的手法を用いた HIV-1 伝播経路の解析. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9 日- 11 日、静岡).
  25. 森 治代、小島洋子、川畑拓也、大竹 徹. 未治療 HIV-1 感染者に検出された V108I 変異の NVP 耐性獲得に対する影響. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9 日- 11 日、静岡).
  26. 菅沼明彦、今村顕史、味澤 篤、根岸昌功、高山直秀、貞升健志、新開敬行. HIV 感染者におけるインフルエンザワクチン接種効果の検討. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9 日- 11 日、静岡).
  27. 木内英、花房秀次、小島賢一、加藤真吾、田中理恵、築地謙治、太田未緒、和田育子. Tenofovir の効果と副作用. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9 日- 11 日、静岡).
  28. 花房秀次、木内英、太田未緒、和田育子、小島賢一、田中理恵、築地謙治、加藤真吾. Atazanavir を含む抗 HIV 療法の評価. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9 日- 11 日、静岡).
  29. 築地謙治、根岸昌功、長谷川直樹、木内英、花房秀次、杉浦互、加藤真吾. PI 服用者における毛髪内 PI 定量法の検討. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9 日- 11 日、静岡).
  30. 加藤真吾、田中理恵、杉浦互. LC-MS/MS による AZT の細胞内薬物動態の解析. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9 日- 11 日、静岡).
  31. 吉村和久. HAART の最適化のための残存ウイルスの評価 [S1-2]. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004 年 12 月 9 日- 11 日、静岡).
  32. 伊部史朗、多和田行男、間宮均人、山中克郎、濱口元洋、金田次弘. 未治療患者に対する HIV-1 遺伝子型薬剤耐性検査の意義. 第 14 回抗ウイルス化学療法研究会 (平成 16 年 5 月-2004).
  33. 永井裕美、和田かおる、西山幸廣、金田次弘. HIV 感染症治療のモニタリング—HIV-1 DNA の定量測定—. 第 14 回抗ウイルス化学療法研究会 (平成 16 年 5 月-2004).
  34. 金田次弘. 未治療患者の薬剤耐性 HIV-1 : 検出頻度、特徴、宿主タンパク質との相互作用. 第 2 回小型シンクロトロン光源とその医療・産業応用に関する研究会 (平成 16 年 7 月-2004).
  35. 金田次弘. HIV-1 mRNA levels in peripheral CD4+T lymphocytes from patients responding well to HAART (HAART 著効患者の末梢血 CD4 陽性 T リンパ球中の HIV-1 mRNA レベル). 第 18 回日

- 本エイズ学会総会シンポジウム(平成16年12月-2004).
36. 服部純子、内山雅宇、加藤 稔、濱口元洋、西山幸廣、金田次弘. HIV-1 感染患者における G 型肝炎ウイルス (GBV-C) 重複感染の影響. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会(2004年12月9日-11日、静岡).
  37. 伊部史朗、澤木 香、森下高行、佐藤克彦、金田次弘. 未治療患者由来プロテアーゼ阻害剤耐性 HIV-1 の増殖能解析. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会(2004年12月9日-11日、静岡).
  38. 澤木 香、伊部史朗、金田次弘. 未治療患者に検出された薬剤耐性 HIV-1 の gag 遺伝子領域内アミノ酸変異の解析. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会(2004年12月9日-11日、静岡).
  39. 山本直彦、森下高行、佐藤克彦、金田次弘、伊部史朗、永井洋美、内海 眞、宮城島拓人. ケニアにおける未治療 HIV 感染者の薬剤耐性遺伝子とサブタイプの流行状況について. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会(2004年12月9日-11日、静岡).
  40. 高橋昌明、吉田昌生、大木 剛、奥村直哉、鈴木達男、金田次弘. プロテアーゼ阻害剤アタザナビル の HPLC による血中濃度測定法の開発. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会(2004年12月9日-11日、静岡).
  41. 永井裕美、和田かおる、照沼 裕、水野善文、多和田行男、間宮均人、内海 眞、濱口元洋、とう学文、伊藤正彦、西山幸廣、金田次弘. 種々の感染病態における末梢 CD4 陽性 T リンパ球内の HIV-1 DNA レベル. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会(2004年12月9日-11日、静岡).
  42. 小柏 均、永井裕美、水野善文、堀 洋美、加藤 稔、多和田行男、玉村和栄、間宮均人、濱口元洋、金田次弘. MSG (major surface glycoprotein) を用いた Real-time PCR 法による *Pneumocystis jirovecii* 迅速定量法の確立. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会(2004年12月9日-11日、静岡).
  43. 三浦秀佳、千葉智子、滝澤万里、松田善衛、松田昌和、本多三男、杉浦 互. ヒト細胞由来の新たなレポーター細胞による HIV-1 薬剤感受性検査法の確立. 第 52 回ウイルス学会学術集会(2004.11.21-11.23.神奈川県横浜市).
  44. 任 鳳蓉、杉浦 互、田中 博、長谷川直樹. 抗レトロウイルス治療下の HIV-1 の宿主内進化と薬剤耐性予測. 第 52 回ウイルス学会学術集会(2004.11.21-11.23.神奈川県横浜市).
  45. 駒野 淳、宮内浩典、二橋悠子、浦野恵美子、松田善衛、千葉智子、三浦秀佳、Lay Myint、杉浦 互、山本直樹. ヒト免疫不全ウイルス (HIV-1) 複製を特異的に増強する小分子化合物 sparsomycin. 第 52 回ウイルス学会学術集会(2004.11.21-11.23.神奈川県横浜市).
  46. 杉浦 互. 本邦における薬剤耐性 HIV-1 の現状と今後の課題. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会(2004年12月9日-11日、静岡).
  47. 奈良妙美、西尾信博、高嶋能文、堀越泰雄、三間屋純一、杉浦 互. 抗 HIV 薬による様々な副作用を呈し、多剤耐性を獲得した HIV 感染血友病患者の 1 例. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会(2004年12月9日-11日、静岡).
  48. 植田知幸、有吉紅也、三浦秀佳、松田昌和、千葉智子、巖 馬華、Lay Myint、柿澤淳子、濱武牧子、西澤雅子、杉浦 互. プロテアーゼ阻害剤耐性変異と Gag 基質領域の相互干渉に関する解析. 第 18 回

- 日本エイズ学会学術集会・総会 (2004年12月9日-11日、静岡).
49. 任 鳳蓉、松田昌和、長谷川直樹、杉浦 互、田中 博. HAART 治療下の HIV pol 遺伝子の宿主内進化と薬剤耐性予測. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004年12月9日-11日、静岡).
  50. 太田雅美、簾 貴士、大出裕高、畑 晶之、佐藤武幸、横幕能行、布施 晃、杉浦 互、星野忠次. 臨床応用に向けたコンピューターによるエイズ治療薬の適正予測. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004年12月9日-11日、静岡).
  51. 巖 馬華、千葉智子、三浦秀佳、西澤雅子、野村伸彦、北村義浩、山本直樹、杉浦 互. 新規化合物カルバゾール誘導体による HIV-1 インテグラーゼ活性抑制機序の解析. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004年12月9日-11日、静岡).
  52. 松田昌和、Yan Hua、植田知幸、Urvi Parikh、柿澤淳子、西澤雅子、濱武牧子、藤野真之、三浦秀佳、Lay Myint、山本直樹、杉浦 互. 本邦における薬剤耐性 HIV-1 の動向と変遷に関する考察. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004年12月9日-11日、静岡).
  53. 蜂谷敦子、瀧永博之、根岸ふじ江、木村哲、岡 慎一. 新規臨床分離株の抗 HIV 薬に対する累積百分率. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004年12月9日-11日、静岡).
  54. 近藤真規子、嶋貴子、武部豊、今井光信: nef/LTR 欠損 HIV-1 変異株の遺伝子解析について. 第 52 回日本ウイルス学会学術集会・総会 (2004年11月21-23日、横浜)
  55. 近藤真規子、嶋貴子、須藤弘二、足立拓也、相楽裕子、岩室紳也、伊藤章、今井光信: HIV 感染者における nef 欠損 HIV-1 変異株について. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004年12月9-11日、静岡)
  56. 須藤弘二、嶋貴子、近藤真規子、古谷茂之、瀬尾麻美、加藤真吾、今井光信: HIV RNA 測定キット COBAS TaqMan HIV-1 Test 「マニュアル」の基礎的検討. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004年12月9-11日、静岡)
  57. 向出雅一、加藤真吾、田中理恵、近藤真規子、嶋貴子、須藤弘二、武部豊、今井光信: LTR、gag、pol 領域を用いた HIV-1 プロウイルス定量法に関する検討. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004年12月9-11日、静岡)
  58. 菊池嘉、福武勝幸、天野景裕、白阪琢磨、山本善彦、今井光信、近藤真規子、林邦彦、古谷茂之、木村哲、岡慎一: リアルタイム PCR 法による HIV-1 RNA 定量キット COBAS TaqMan HIV-1 Test (High Pure System) の検討. 第 18 回日本エイズ学会学術集会・総会 (2004年12月9-11日、静岡)

図1 HIVスクリーニング検査の現状と課題 (2004)

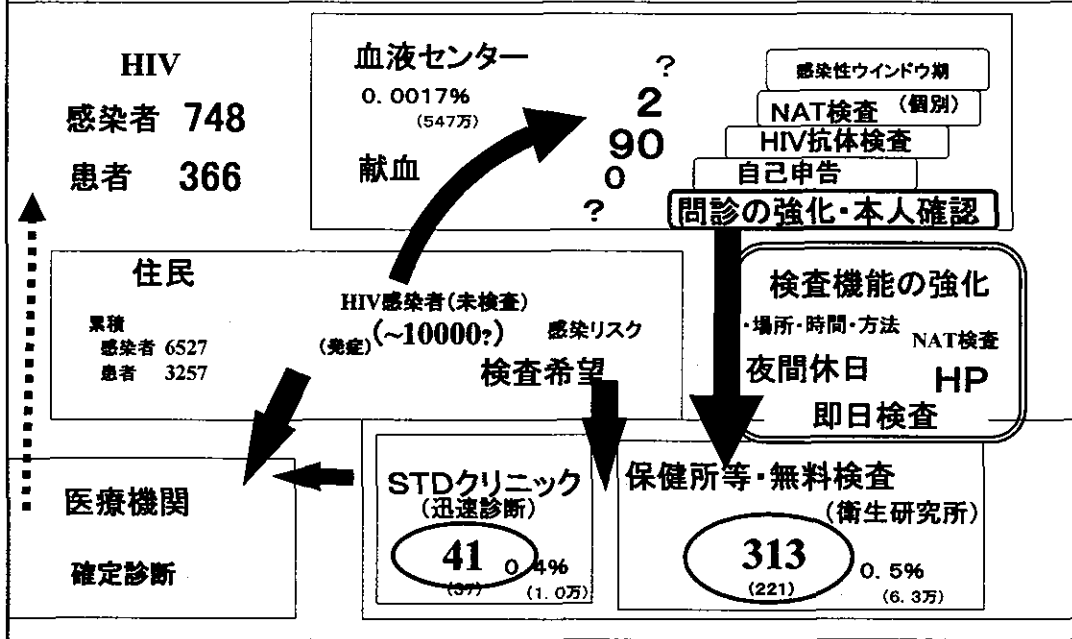


図2 保健所等無料HIV検査の検査数と陽性数 (15都道府県)

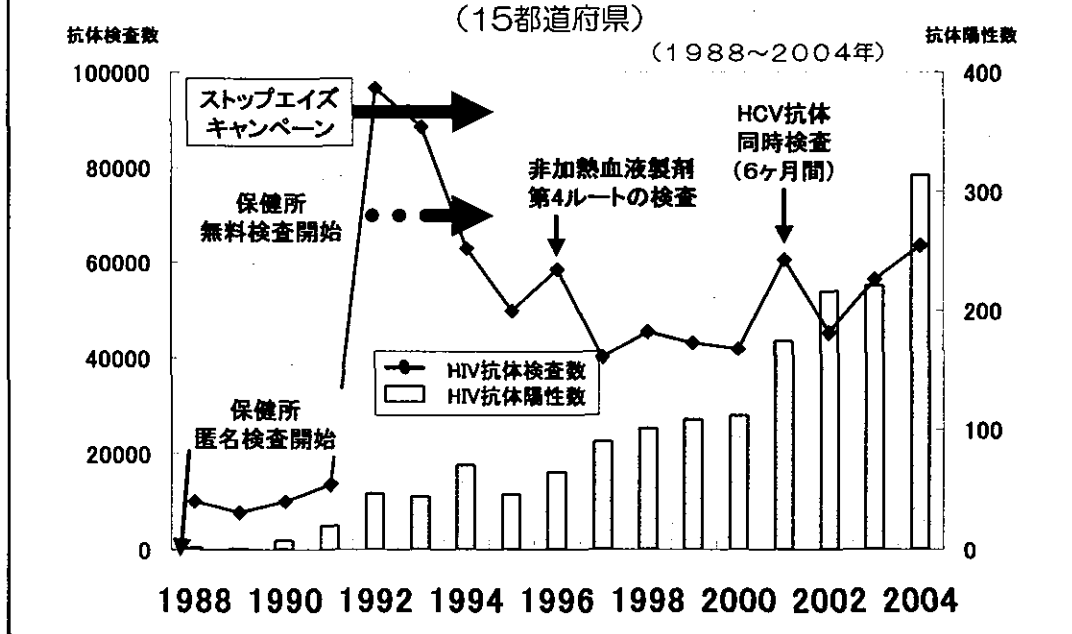


図3

### HIV感染者報告数とHIV検査陽性数の推移

(1997~2004)

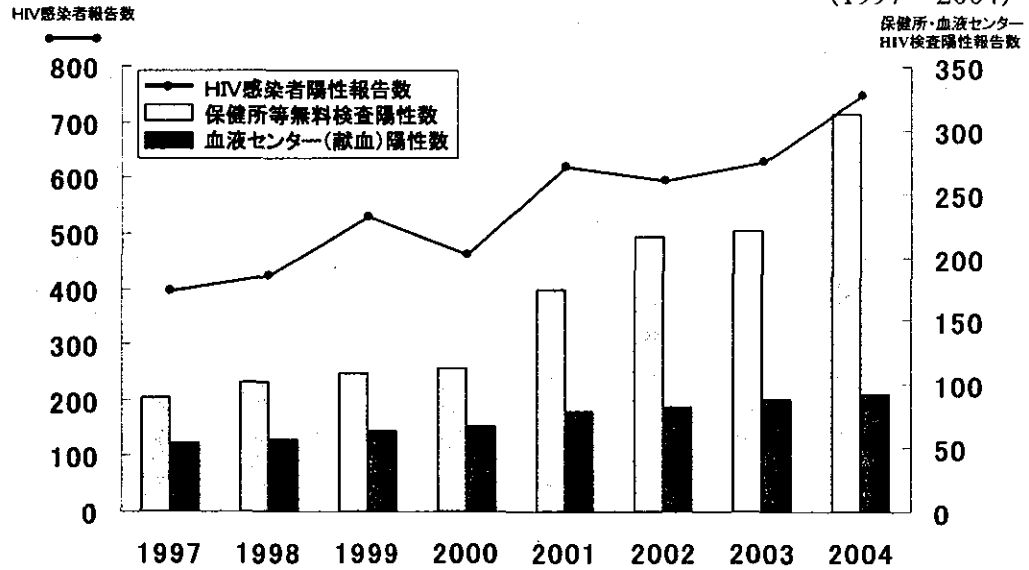


図4

### 保健所等無料HIV検査の陽性数と陽性率

(2004年 都府県別)

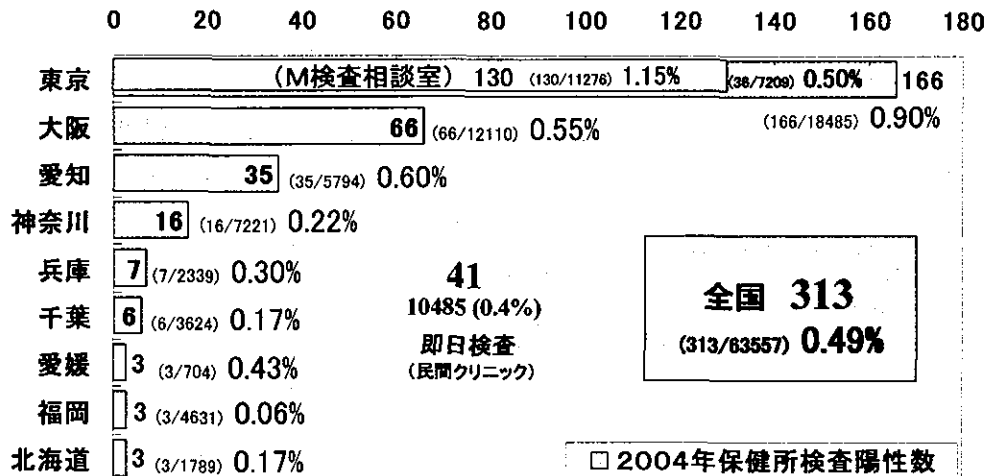


図5

保健所等HIV無料検査における陽性数の推移

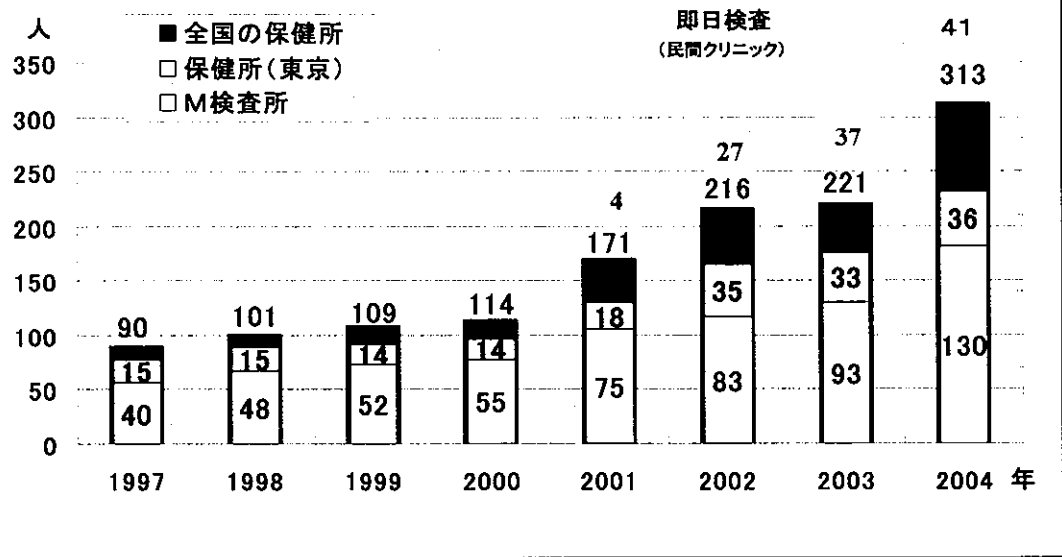


図6

T地域のHIV検査数と陽性数

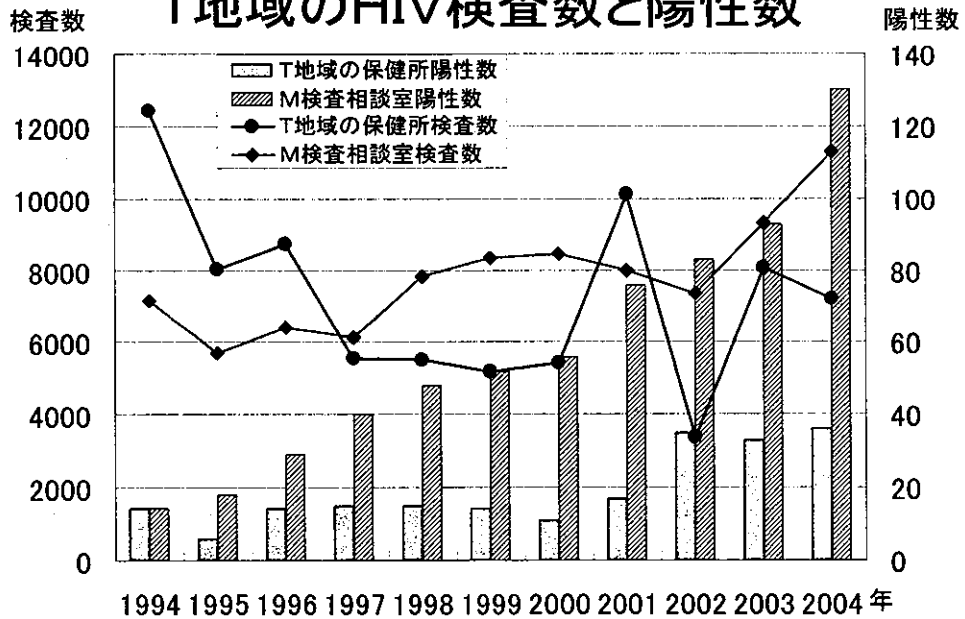




図7

## 保健所等無料HIV検査の検査数の推移 (K市)

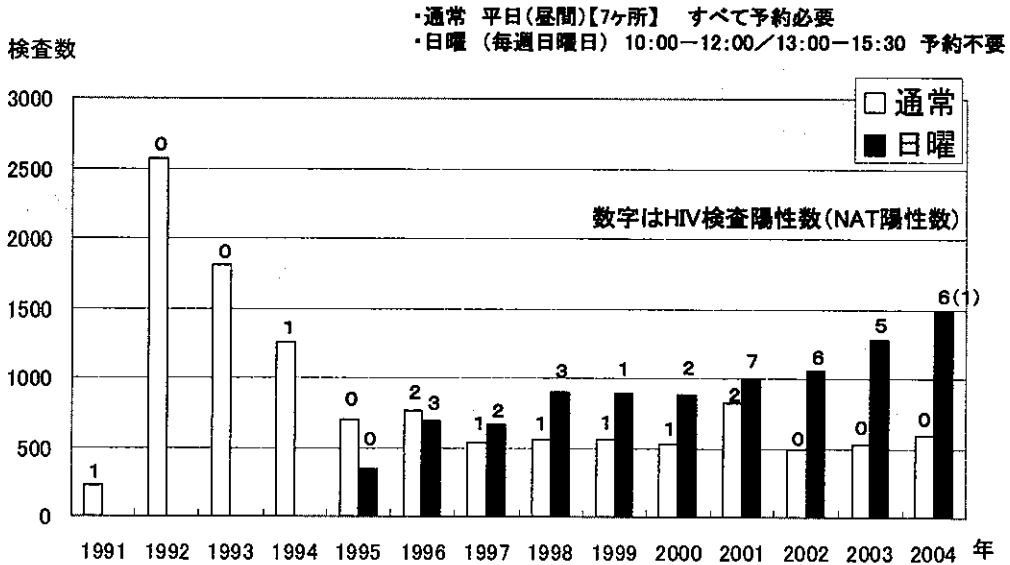


図8



HIV検査体制の構築に関する研究班  
 The Study Group on the Development of HIV Testing Systems  
<http://www.hivkorea.com>

### 保健所等における HIV即日検査のガイドライン

(平成16年3月版)

### 保健所等における HIV即日検査のガイドライン

(平成16年3月版)

<配布先>

- ◆都道府県、政令指定都市等  
自治体HIV担当主管課
- ◆保健所
- ◆衛生研究所
- ◆ブロック拠点病院

計 1155箇所

利用される皆様へ

本ガイドラインは、厚生労働科学研究費補助金による研究班  
 (HIV検査体制の構築に関する研究)主任研究員(今月太郎)  
 のガイドライン作成委員会が、平成16年3月現在までの  
 712件の実験データに基づき作成したものです。今後進  
 するHIV即日検査の実験結果の検証や変化に基づき普及を促進  
 には、関係機関で共有し、公表する予定です。

図9

### 広がるエイズの即日検査

エイズウイルス感染が約30分で分かる無料検査が普及し始めた。昨年導入した栃木県県民健康福祉センターに続き、東京都江戸川区保健所や北海道の一部保健所も開始。厚生労働省も今年、名古屋市と大阪市の繁華街で休日に来場する予定だ。

通常の検査だと結果が出るまで1~2週間かかり、結果を聞きに来ない人もいた。感染者増加にもかかわらず、保健所で検査を受ける人はほとんど増えず、効果的な検査

優勢が顕著だった。ただ、即日検査では、感染していないのに陽性とする「偽陽性」が約1%ある。「陽性か否かの証明や対応が大切です」と神奈川県衛生研究所の今井光博所長はいう。

今井さんが所長を務める厚労省研究班はこの3月、即日検査のための指針を作成した。HIV検査・相談マップ（www.hivkensa.com）で指針を公表、あわせて即日検査できる機関の情報を載せている。

2004.6.21 朝日新聞

### HIV感染すぐ判明

即日検査ガイドラインを作成

厚生労働省は、エイズウイルス（HIV）感染を約30分で判明する即日検査のガイドラインを作成した。偽陽性率は約1%と低く、陽性反応が出た場合は、再検査を勧める。また、検査結果が陽性の場合、適切な治療を受けるよう指導する。ガイドラインは、検査機関の設置基準や検査方法、結果の告知方法などを定めている。厚生労働省は、即日検査の普及を促進するため、検査キットの配布や、検査費用の補助を行う。また、検査結果の告知方法についても、電話やメールによる通知も認められる。ガイドラインは、全国の保健所や医療機関で実施される。厚生労働省は、即日検査の普及を促進するため、検査キットの配布や、検査費用の補助を行う。また、検査結果の告知方法についても、電話やメールによる通知も認められる。ガイドラインは、全国の保健所や医療機関で実施される。

2004.5.28 神奈川新聞

### HIV即日検査普及へ

試験導入では4倍増に

厚生労働省は、エイズウイルス（HIV）感染を約30分で判明する即日検査の普及を促進するため、検査キットの配布や、検査費用の補助を行う。また、検査結果の告知方法についても、電話やメールによる通知も認められる。ガイドラインは、全国の保健所や医療機関で実施される。厚生労働省は、即日検査の普及を促進するため、検査キットの配布や、検査費用の補助を行う。また、検査結果の告知方法についても、電話やメールによる通知も認められる。ガイドラインは、全国の保健所や医療機関で実施される。

2004.5.28 福井新聞

日本経済新聞(夕刊) 2004.8.3

図10

## 保健所等無料検査機関 即日検査導入機関

平成17年3月現在

保健所41ヶ所  
(全国保健所583ヶ所)  
特別検査機関3ヶ所  
(15都道府県)

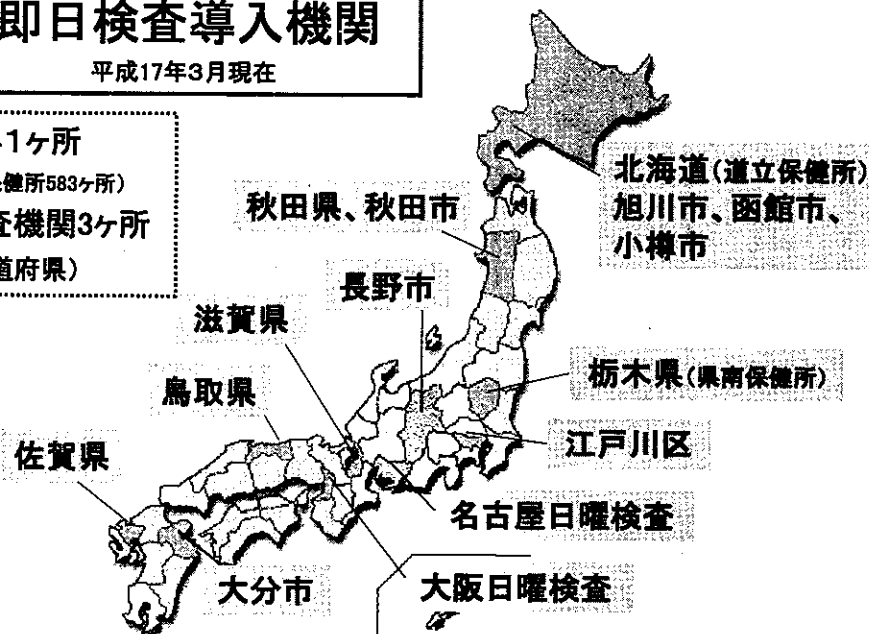


図11 平成17年度 即日検査新規実施・予定機関

◆東京都	多摩立川保健所(土曜日月1回)	4月から
	杉並保健所(土曜日月1回)	4月から
◆栃木県	保健所 5箇所	4月から
	宇都宮市保健所	4月から
◆千葉県	習志野保健所、君津保健所(全15保健所)	4月から
◆兵庫県	保健所6箇所(全13保健所)	4月から
◆沖縄県	保健所 6箇所	4月から
◆横浜市	土曜特別検査機関(月4回)	5月から
◆滋賀県	大津保健所	5月から
◆群馬県	保健所 11箇所	5月から
◆大分県	保健所5箇所(全10保健所)	5月から
◆岡崎市	岡崎市保健所	6月から
◆熊本県	保健所7箇所(全10保健所)	6月から
◆静岡県	保健所4箇所(全9保健所)	7月から
◆神奈川県	日曜特別検査機関(月2回)	8月から

図12

保健所でのHIV即日検査実施状況

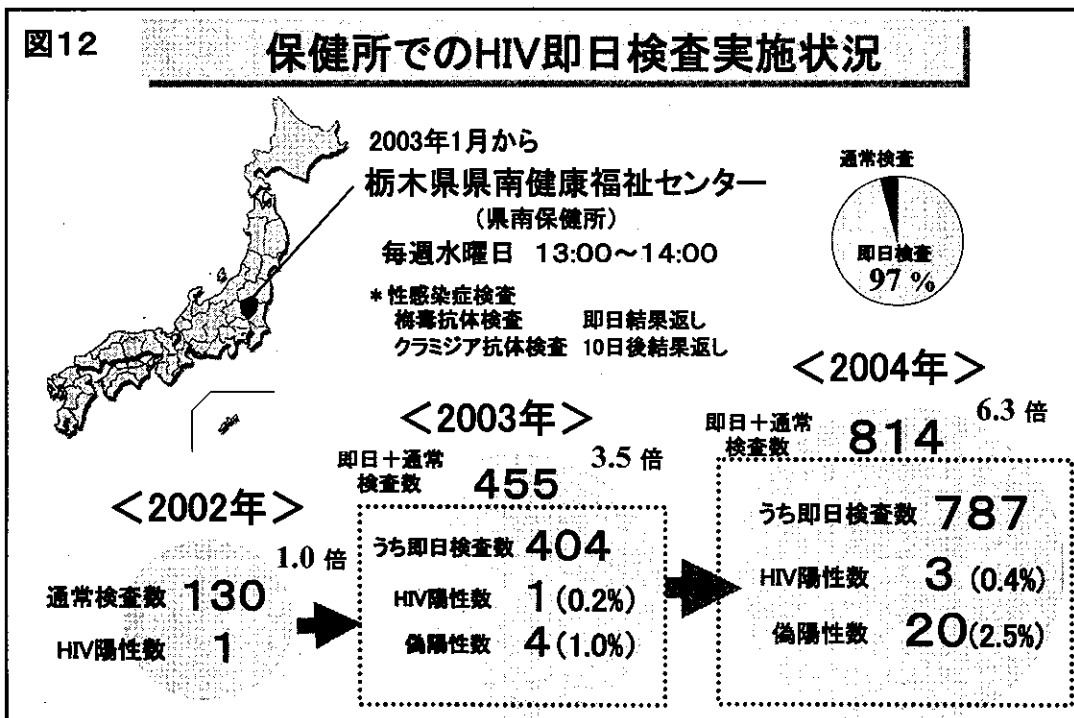


図13

### 保健所でのHIV即日検査実施状況

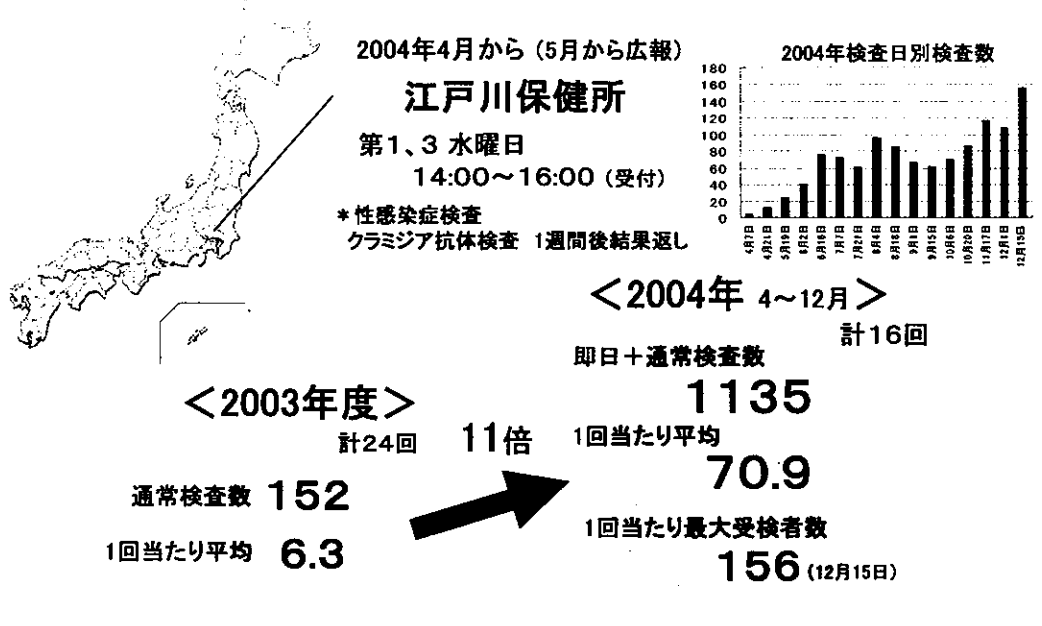


図14 HIV即日検査の導入  
 -民間クリニックとの連携-  
 <2005年 実施17ヶ所>

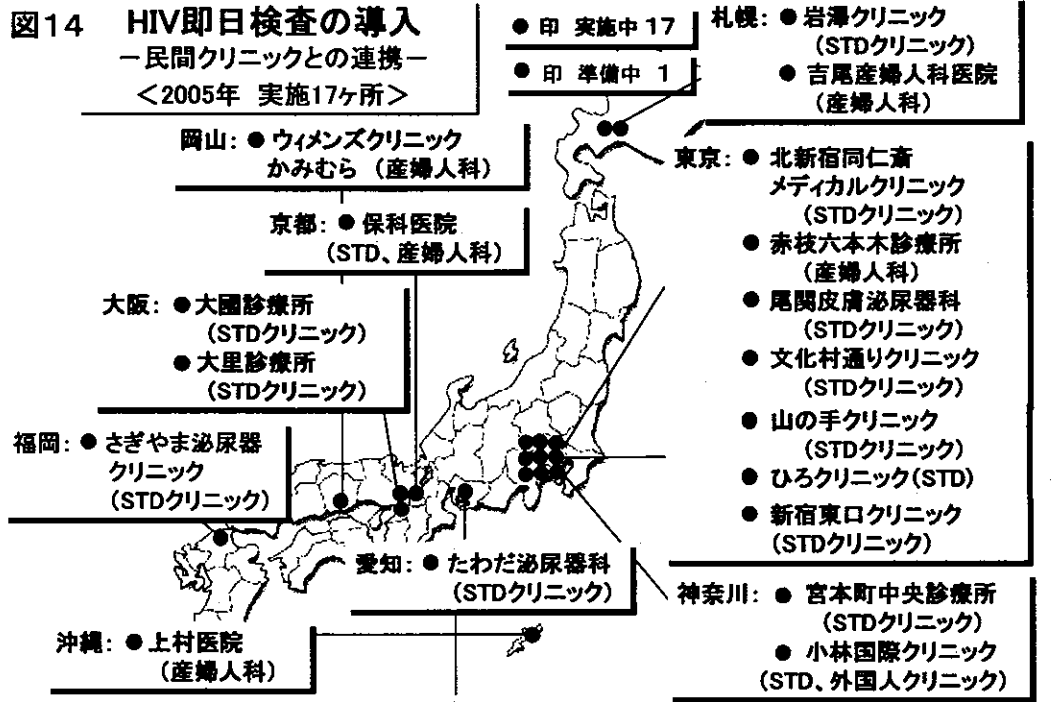


図15

民間クリニックでのHIV即日検査実施状況

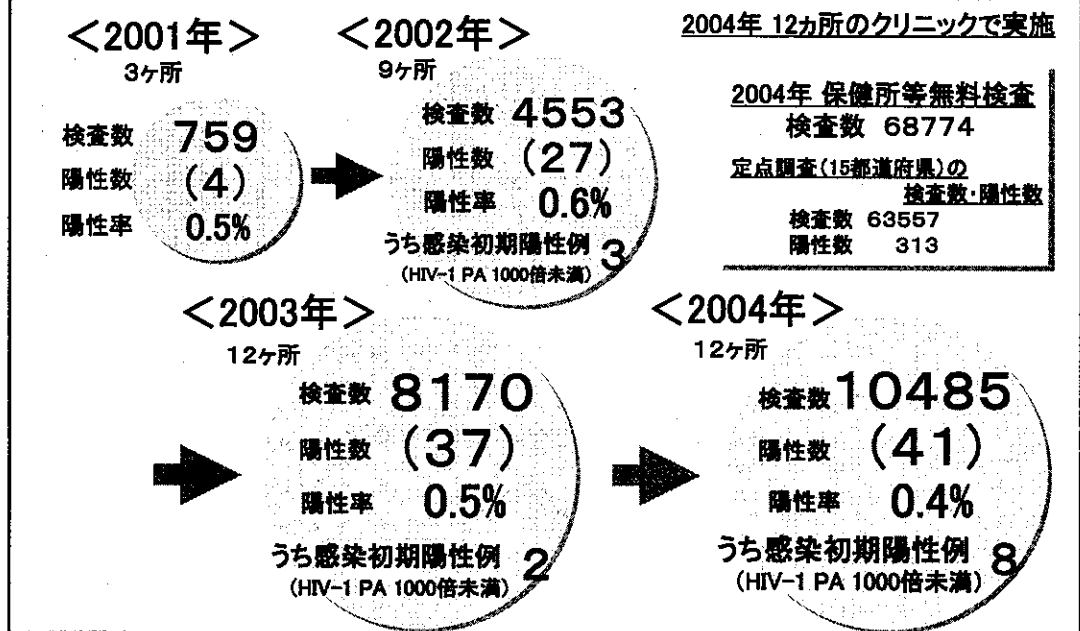


図16

ホームページ  
HIV検査・相談マップ  
<http://www.hivkensa.com>

2004年12月現在  
1日平均アクセス数  
約2300件/日

2001年9月からの  
合計アクセス数  
150万件

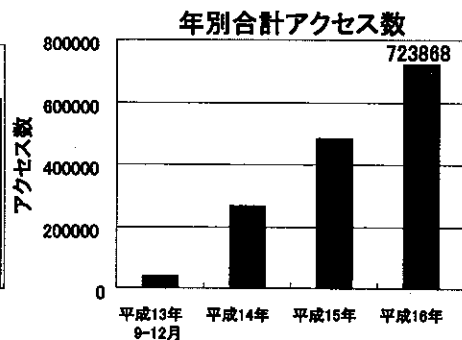
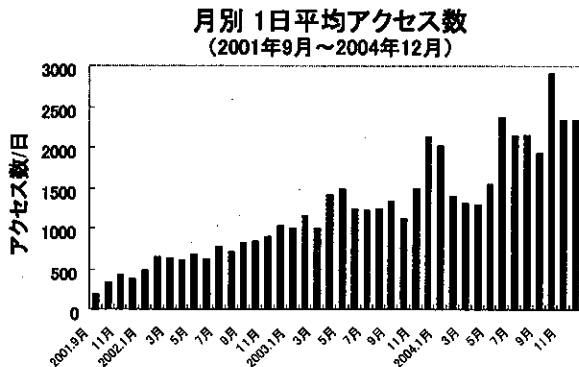
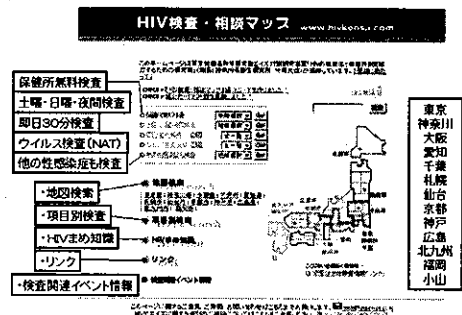
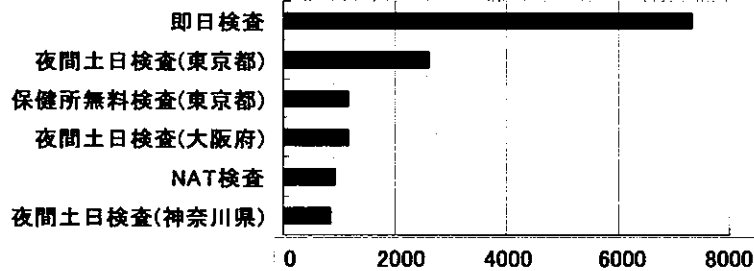


図17

各カテゴリーへのアクセス数 (2004年12月分)



詳細ページアクセス数 (2004年12月分)

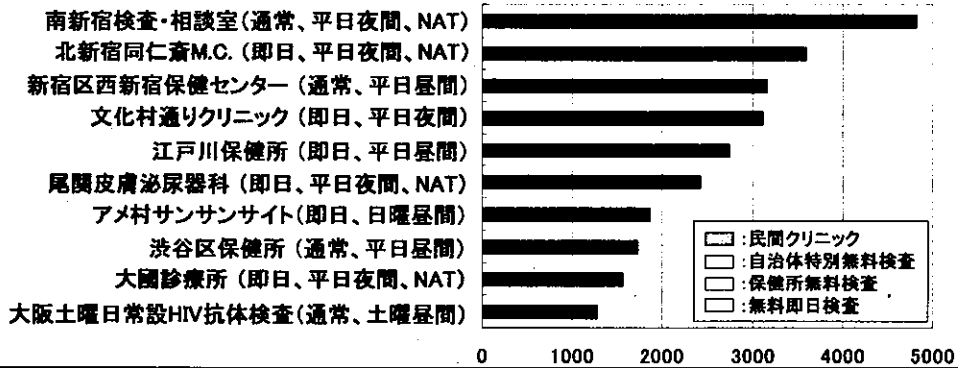
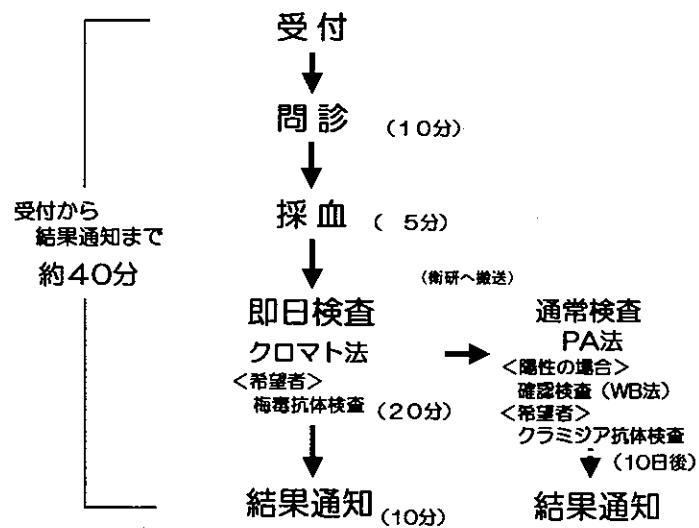


図18

栃木県県南健康福祉センター  
HIV即日検査実施体制

現在

<即日検査フロー>



<保健所の担当人員>

- 保健師等 3~5名
- 看護師 1名
- 臨床検査技師 1名
- 感染症予防担当 2名

図19

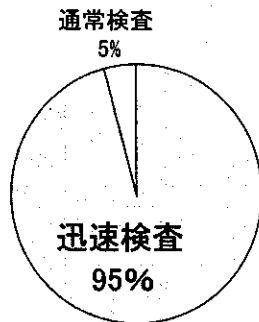
栃木県南健康福祉センターにおけるHIV検査希望者へのアンケート調査結果

(n=702 回答率86.0%)  
H16.1~12月

Q. どちらのHIV検査を受けましたか？

通常のHIV検査を受けた理由は何ですか？

- 他の性感染症の検査結果と一緒に聞く方が良かったから
- 念のため



HIV迅速検査を受けた理由は何ですか？

1. できるだけ早く結果を知りたかったから …… 91.7%
2. 再度保健所に結果を聞きにくる必要がないから …………… 27.0%

図20

栃木県南健康福祉センターにおけるHIV検査希望者へのアンケート調査結果

(n=702 回答率86.0%)

Q. HIV検査がどのような方法で行われるとより受けやすくなると思いますか？ (複数回答可)

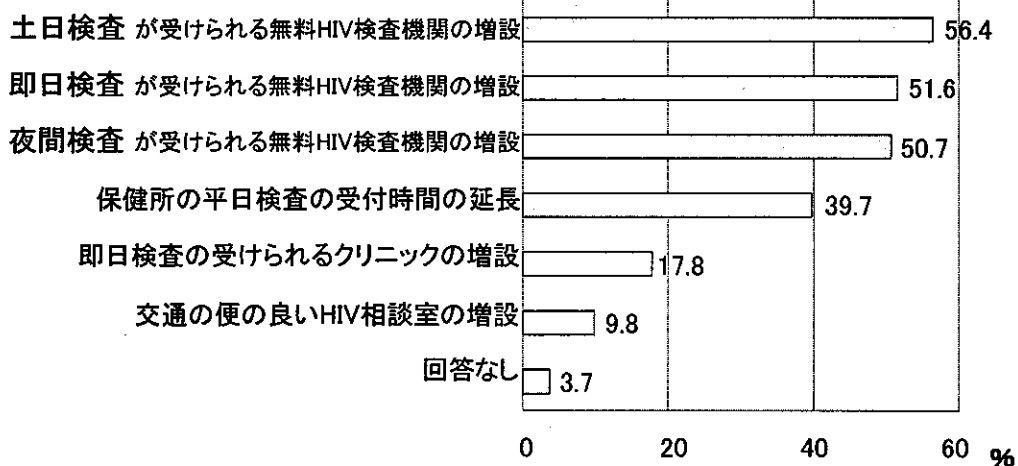
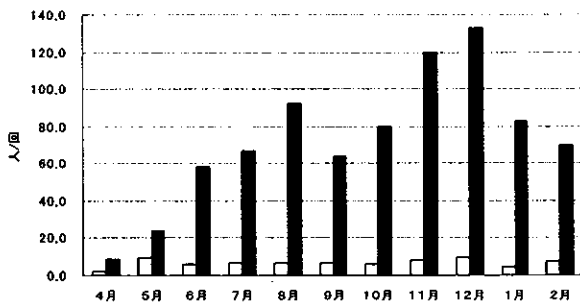


図21

### 江戸川保健所のHIV検査受検者数

月別受検者数(一回あたり)

□ H15年度 ■ H16年度



住所別受検者数  
(H16年4月～H17年2月)

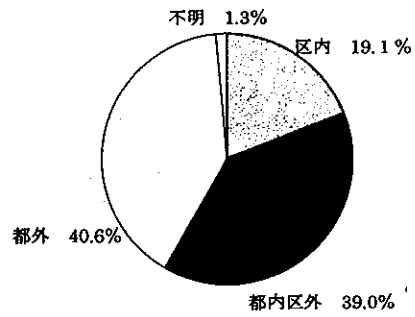


図22

### 即日検査受検者を対象としたアンケート

回答集計期間：平成16年5月17日～12月28日 検査についての説明はどうでしたか？

アンケート配布数：384

回答数：220

回答率：57.3%

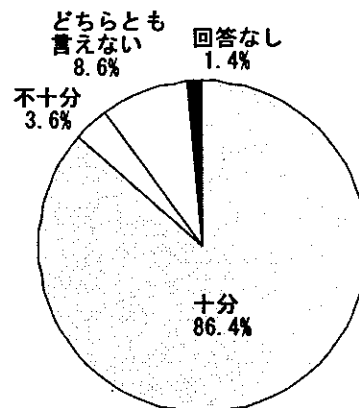




図23

### 保健所におけるHIV検査数の分布状況

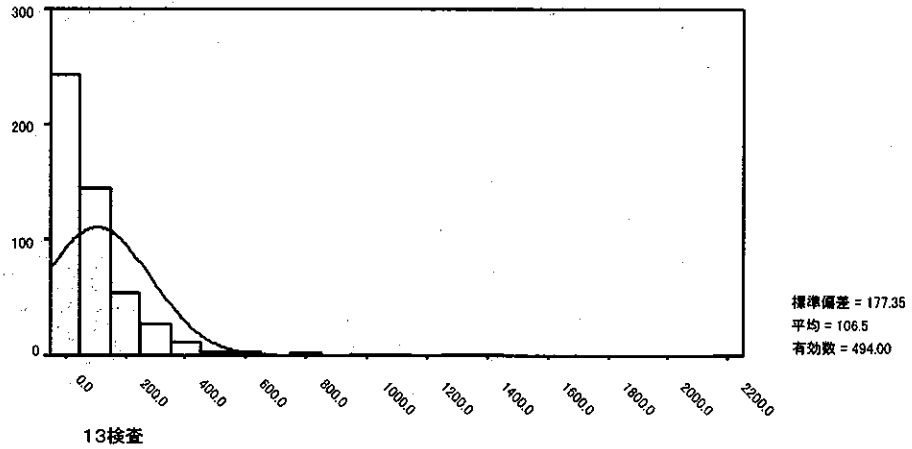


図24

### 血液の安全性確保対策

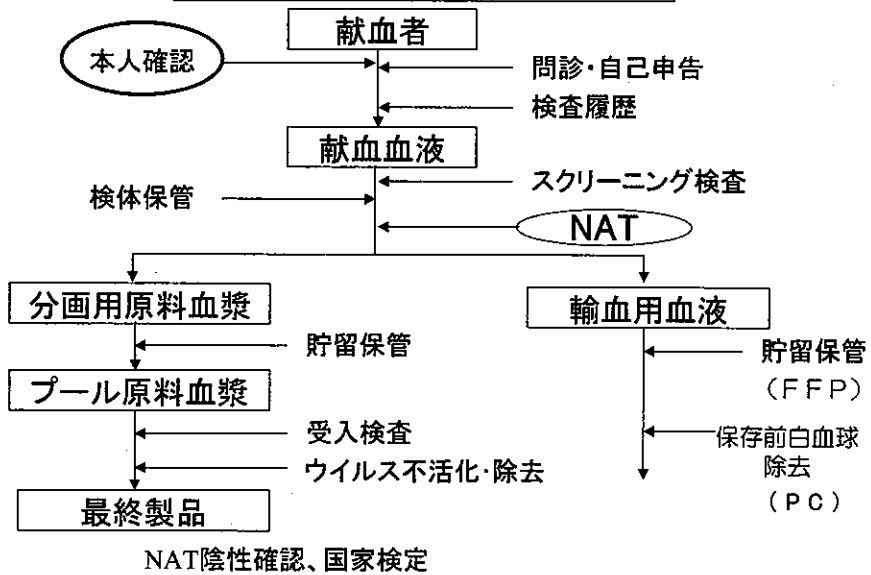


図25

アンケート調査結果のまとめ

本人確認への理解あり

「証明書の提示を断った」のはわずか1%となり、また、本人確認を行う趣旨を「理解した」は9割に達しており、大多数の方には本人確認の実施について理解し、積極的な肯定か否かは別として、おおむね受け入れられていると考えられる。

1%とはいえ拒否者が出ている実態、自由意見にて“仕方がない”や“こうしてほしい”という意見・要望が出されている状況を見ると、より理解を得られるような取り組みを継続していく必要があると考えられる。

証明書の範囲の検討

提示された証明書を見ると、「運転免許証」「社員証」「学生証」が主なものとなっており、また、職業等の属性によるものの保有者が多いと思われる。これらの証明書を中心に、「クレジットカード」「銀行カード」「献血手帳」「保険証」といったものの保有が多い結果となっている。さらに「本日は証明書がないので次回に提示」が約2割存在している。

「運転免許証」「社員証」「学生証」等を持っておらず、“証明書を持っていない”という約2割の方に対して、どこまで証明書の範囲を広げていくかがポイントとなる。

周知の徹底

本人確認の試行を「知っている」としたのは約2割となっており、8割近くの方には事前に知られていない状況であった。また、自由意見にて、“知らなかったので証明書を持ってこなかった”“周知を徹底してほしい”という意見も挙げられた。

普段証明書を持ち歩いていない方に持ってきていただく、また、献血の際に証明書の提示を拒否されることのないよう、本人確認を行っていることやその趣旨についての周知を徹底していく必要がある。

図26

献血者におけるNAT陽性の推移

検査年	検査本数	HBV	HCV	HIV	計
1999年	1,668,926	16	5	0	21
2000年	5,542,085	88	18	3	109
2001年	5,457,231	120	20	1	141
2002年	5,484,142	103	11	2	116
2003年	5,345,629	114	16	2	132
2004年	5,237,543	83	12	2	97
累計	28,735,556	524	82	10	616

1999.7～  
500本プール

2000.2～  
50本プール

2004.8～  
20本プール

図27

図3. 要再検査例の頻度  
月間検査数で施設を分類したときの比較

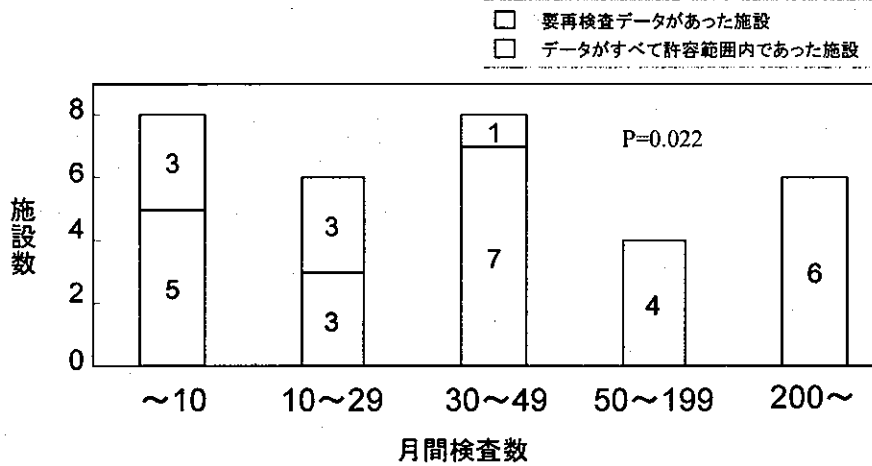


図28

図2. 未治療患者症例での HIV-1 DNA の分布

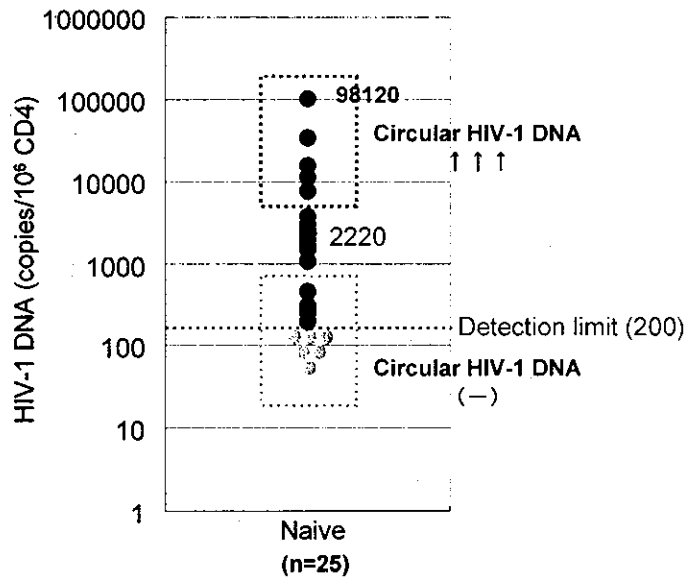


図29

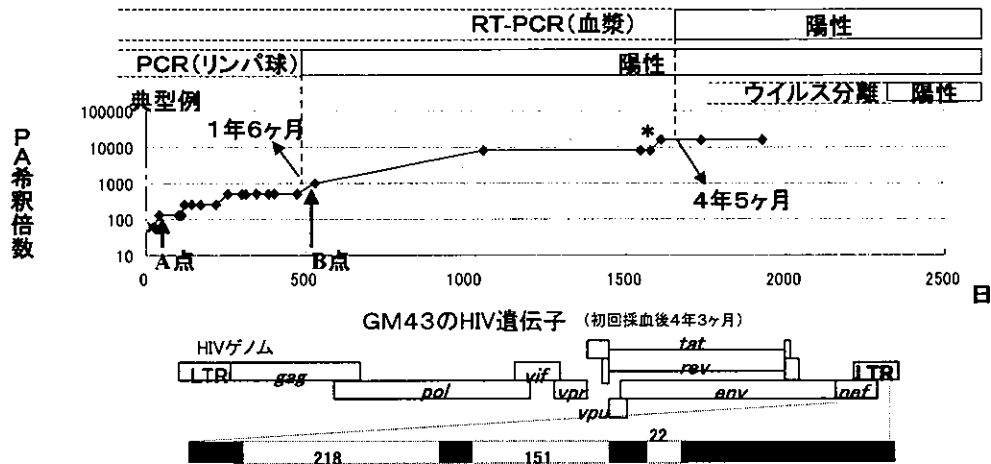
表2 HIV-1プロウイルス定量結果(1)

分離培養株 (培養PBMC)	サブタイプ	上清中p24* (pg/ml)	HIV-1プロウイルス		MGB測定値
			TAMRA (コピ- /1ugDNA)	MGB	TAMRA測定値
Y197	B	850	86	110	1.28
Y187	B	34,000	2,300	7,900	3.43
GM910-22	B	7,600	710	1,200	1.69
Y160	B	15,000	2,100	2,600	1.23
Y164	B	290,000	520,000	470,000	0.90
Y198	B	320,000	560,000	730,000	1.30
GMI123	A/E	250,000	420,000	490,000	1.17
Y191	A/E	180,000	120,000	110,000	0.92
Y165	A	17,000	270	180	0.67
Y30	C	24,000	130,000	150,000	1.13
GM652-5	F	36,000	260,000	300,000	1.15
Y115	G	44,000	2,300	16,000	6.96

\*VIDAS DUO

図30

GM43のHIVマーカーの経過



論文: Identification of Attenuated HIV-1 CRF01\_AE Variant Associated with Slow Disease Progression Due to Gross Genetic Alteration in the *nef*-LTR Sequences by M. Kondo, Y. Takebe, M. Imai. The Journal of Infectious Diseases, in press.

特許: 弱毒型HIV-1塩基配列, 特願: 2005-008741、平成17年1月17日出願、国立感染症研究所エイズ研究センター、武部博士との共同出願